

このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2004 で書かれています

<p>1</p>		<p>画像を用意します。 ネットから見つける場合は、「コップ 水」など検索します。 できるだけ俯瞰で撮っている解像度の高い画像を用意します。</p>
<p>2</p>		<p>画面左のスライドのサムネイルをクリックし、「Ctrl」+「D」キーで、複製。</p>
<p>3</p>		<p>画像をダブルクリックし、「トリミング」→「縦横比」→「1：1」。</p>
<p>4</p>		<p>正方形比率が崩れないように、「Shift」キーを押しながら、波紋を起す範囲をトリミングします。</p>
<p>5</p>		<p>トリミングした画像を選択し、「Ctrl」+「C」キーで、コピー。</p>

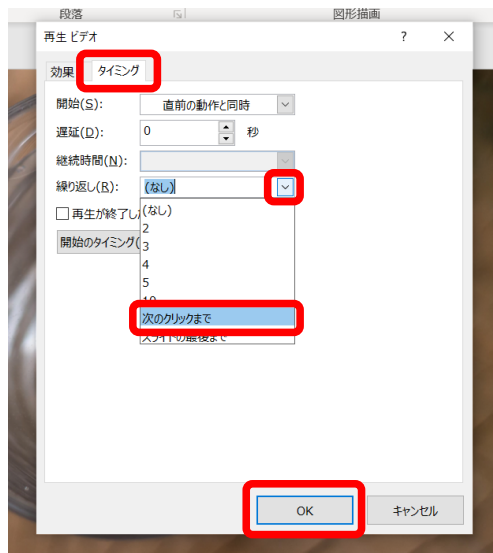
6		<p>「Ctrl」 + 「N」 キーで、新しいプレゼンテーションの作成。</p>
7		<p>「デザイン」 → 「スライドのサイズ」 → 「ユーザー設定のスライドのサイズ」。</p>
8		<p>「幅」を高さに合わせて「19.05」。 「OK」 → 「最大化」。</p> <p>スライドが正方形比率になります。</p>
9		<p>「Ctrl」 + 「V」 で、貼り付け。 画像をスライドいっぱい。</p>
10		<p>スライドのサムネイルをクリックし、 「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。</p>

<p>11</p>		<p>「画面切り替え」→「さざ波」。</p>
<p>12</p>		<p>「自動切り替え」にチェックを入れ、「2 秒」。 この秒数は、波紋と波紋の間の時間になります。</p>
<p>13</p>		<p>1 枚目のスライドのサムネイルをクリックし、「自動切り替え」にチェック。</p>
<p>14</p>		<p>「F12」キーで、動画として保存します。 「ファイルの種類」を「MPEG-4 ビデオ」にして、「保存」。</p>
<p>15</p>		<p>最初に作ったプレゼンテーションに戻ります。 1 枚目のスライドのサムネイルを選択。</p>

16		<p>「挿入」→「ビデオ」→ 「このコンピューター上のビデオ」で、 先ほど保存した動画を挿入。</p>
17		<p>2枚目のスライドのサムネイルをクリックし、 画像をダブルクリック。</p>
18		<p>「高さ」の数値を記憶。</p>
19		<p>1枚目のスライドのサムネイルをクリックし、 動画をダブルクリック。</p>
20		<p>「高さ」に先ほど記憶した数値を入力。</p>
21		<p>動画が下の画像に合うように位置を調整。</p>

22		「ビデオの図形」→「楕円」。
23		<p>「ビデオの効果」→「ぼかし」→「10ポイント」。</p> <p>ぼかしのかけないと、動画が再生されたときに画像との区切りがはっきりしてしまうためです。ぼかしの量は、動画のサイズによっても違うので、場合によっては調整してください。</p>
24		「アニメーション」→「アニメーション ウィンドウ」。「開始」を「直前の動作と同時」。
25		「アニメーション ウィンドウ」のアニメーションの項目をダブルクリック。

26

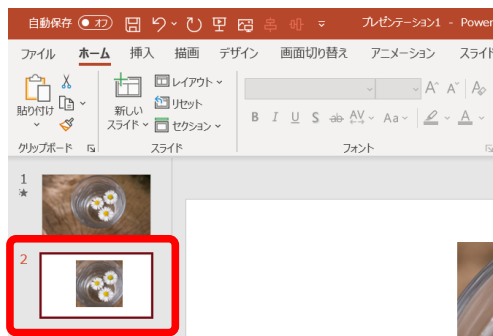


「タイミング」タブをクリック。

「繰り返し」を「次のクリックまで」。

「OK」。

27



2枚目のスライドはいらないので、削除。

28



「F5」キーで、スライドショーを観てみましょう。  
水面で波紋が繰り返されます。